

くまもと はじめて 物語

明治、大正、昭和。
くまもとも、いろんなことがありました。
心躍ること、びっくりするようなこと、そして、悲しいこと。
めまぐるしく変りつづけた時代……。
何かが始まる時、そこにはいつも若々しいエネルギーが
溢れています。ひたむきな情熱が隠されています。
くまもとはじめて物語。さあ、始めましょう。

1 明治

五カ条の御誓文
富重利平が熊本市に初めての写真店を開く
この頃、熊本にマッチが登場する

4 廃藩置県

熊本洋学校開校
県内で初めての小学校山鹿郡に開校

5 郵便役所が熊本市新町に開設

長野藩平が蚕業試験場を九品寺に設ける
この頃、県内に人力車が登場する

6 水島貫之と伊喜見文吾、熊本市に初めての印刷会社「活版舎」を開き、「白川新聞」を発刊する

8 県内で初めて電信（テリグラフ）業務を開始

「キリシタンの魔法」と当時の人々は驚き恐れる
神風連（敬神党）の乱

県立千葉中学校、県内初の中学校として開校
西南戦争

10 最初の県会開かれる

はじめての県集団移民8人アメリカへ渡る
県内初の幼稚園、図書館設立

19 三角西港が開港 金峰山地震

第五高等学校設立（のち第五高等学校となる）
大日本帝国憲法発布

20 久留米 高瀬間、高瀬 熊本間に鉄道開業

県内で初めて熊本市の一角に電灯がつく
日清戦争勃発

24 この頃、県内に自転車（アホウ車）が登場する

家賃四〜五円の頃に一台が二百円という高値だった
熊本電話交換局開局

27 熊本市の新市街が完成

日露戦争勃発
県内初の常設映画館「電気館」が熊本市に開業

34 金栗四三が日本人として、初めて第5回オリンピックに出場（マラソン）

36 第一次世界大戦勃発

熊本市が周辺地と合併して大熊本市となる
（人口二万人）

37 関東大震災

熊本市で市電、上水道が開通
この頃、県内の人口二二九万六千人

38 藤井八重子が三等飛行士にパス 九州初の女流飛行家となる

39 熊本放送局（JOKK）開局

水前寺動物園開園
朝日館で初のトーキー映画上映

40 昭和三十二年

41 昭和三十二年

42 昭和三十二年

43 昭和三十二年

44 昭和三十二年

45 昭和三十二年

46 昭和三十二年



昭和4年 水前寺動物園開園



明治20年 三角西港が開港

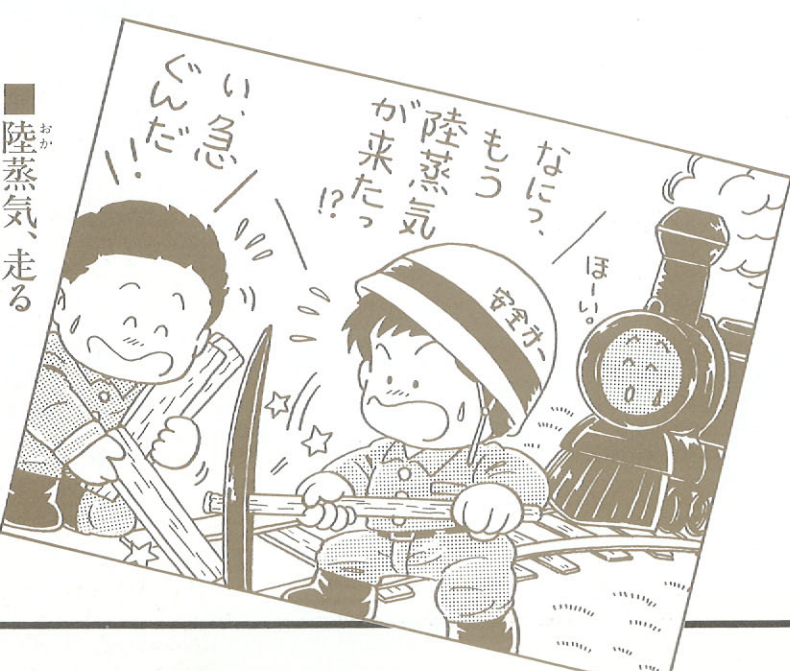


明治8年 電信業務を開始



熊本製糸業界の父

明治5年、長野藩平は、現在の熊本市九品寺町に養蚕試験場を開いた。産業を興し、貿易を盛んにする事が日本の栄える道だ。彼はそう考え、機械による生糸の生産を試みたのである。続いて明治8年には、県参事嘉悦氏房の協力を得て、甲佐郷豊内村（現甲佐町）に緑川製糸場を設立。これは西日本で最初の工場制機械工場となった。



陸蒸気、走る

県下に初めて鉄道が引かれたのは、明治24年の事である。まず4月に久留米—高瀬（現玉名市）間、続いて7月には高瀬—熊本間が開通。「陸蒸気」の汽笛が、熊本の山野にこだました。当時、駅は「ステーション」と呼ばれ、連日、黒山の人だかり。汽車に近寄ってはみたものの、吹き出す蒸気に驚いて逃げ出す者。線路のわきにゴザを敷いて、弁当を食べながら見物する者など。賑やかな光景が各地で見られた。